

税務課長の仕事宣言！ 進行管理表

税務課長 平塚 俊範

重点事業の概要 [事業名：市税収納率の向上]

〔目標値：市税徴収率（現年度分）98.5%、国保税徴収率（現年度分）92.0%以上の確保〕

○この事業は、市税・国保税の収納率の向上を図る事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	○4、5月の徴収強化月間とし滞納整理の強化に努めた。 ○休日の納税相談を実施した。(月1回) ○滞納整理指導員を活用し徴収技術の向上に努めた。 ○佐賀県滞納整理機構と連携した差押予告書を発送した。(発送数146) ○不動産公売を実施した。(2件) ○滞納整理システムを活用した滞納整理を強化した。 ○臨時職員による初期滞納者電話催告を実施した。
	自己評価	前年同時期と比較すると、現年課税分の収納率はやや向上した。また、滞納繰越分の収納率はやや下がっているものの、国保税の収納率は向上しており、取り組みの成果は出ているものと思われる。
	下半期への対応	初期滞納者電話催告、現年度に特化した差押予告書の発送、不動産公売の実施、出張徴収のほか、滞納整理システムにより事務処理の効率化を図り、徹底した財産調査、滞納処分執行停止及び債権差押等を強化し、市税収納率向上に努める。
下半期	取組実績	○初期滞納者への電話催告(10月～12月末) (納付催告件数：240件、収納件数：110件) ○現年度に特化した差押予告書の発送(11月実施) (発送対象者数699人、収納額11,900千円) ○預金差押のため、九州管内及び中国地方の金融機関へ出張徴収 ○滞納整理システム稼働による事務処理効率化の推進
	自己評価	計画どおりの取り組みができ、収納率向上につながっている。
	目標値の達成状況	初期滞納者電話催告、出張徴収に加え、今年度は現年度に特化した差押予告書の発送、滞納整理システムにより事務処理の効率化を図った結果、1月末時点における市税の徴収率は対前年同月比で0.4ポイント減少したものの、収入金額は24,438千円増加している。また、国保税の徴収率は対前年同月比で0.1ポイント増加しており、目標値達成に向け収納率が向上している。
	次年度への対応	次年度も引き続き、この取り組みを継続する。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市税収入は、行政執行を支える重要な財源です。税の公平負担の原則からも適正な収納対策に取り組むこと。また、滞納整理システムを活用し、滞納整理に取り組むこと。

下半期

税の公平負担の原則からも適正な収納対策に取り組むこと。

税務課長の仕事宣言！ 進行管理表

税務課長 平塚 俊範

重点事業の概要 [事業名：税務職員としてのスキルアップのための研修等]

[目標値：課内研修5回、庁外研修14回]

○この事業は、税務職員としてのスキルアップのための研修等を行う事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	○課内研修として課税事務研修を2回実施した。 ○市町村アカデミー研修に固定資産税係、管理収納係より1人ずつ参加した。(実施回数2回) ○NOMA研修(非木造家屋評価)に1人参加した。(実施回数1回) ○佐賀県初任者研修、その他課税事務研修などに延べ23人が参加した。(実施回数10回)
	自己評価	計画どおり実施でき、スキルアップにつながっているものと思われる。
	下半期への対応	課内研修である申告事務研修を実施するとともに、税務署確定申告研修、市町村アカデミー研修、NOMA研修などの庁外研修に参加する。また、小郡市と合同で税徴収研究会を開催し事例研究に努める。
下半期	取組実績	○課内研修として申告事務研修を3回実施した。 ○税務署確定申告研修に9人参加した。(実施回数4回) ○市町村アカデミー研修に市民税係より1人参加した。(実施回数1回) ○NOMA研修(納付折衝事務研修等)に2人参加した。(実施回数2回) ○小郡市との税徴収研究会に4人参加した。(実施回数1回) ○税法研修、滞納整理実践研修、固定資産研修など延べ20名が参加した。(実施回数7回)
	自己評価	計画どおりの取り組みができ、スキルアップにつながっているものと思われる。
	目標値の達成状況	目標どおり実施できた。
	次年度への対応	次年度も引き続き、この取り組みを継続する。

所管部長(リープロ担当部長)の指示

上半期

納税者への丁寧かつ的確な説明や迅速な事務処理などは、日頃の研修が不可欠です。窓口サービスの向上のため、各種研修への参加や課内研修に取り組み、職員全体のスキルアップに努めること。

下半期

法律改正や税に対する市民意識の変化、経済状況などの社会情勢の変化など、税に関する環境は変化しています。今後とも税務職員としての研鑽に努め、市民への説明責任が十分果たせるよう努めること。